

SUN サンプラスチックス 株式会社
SUN PLASTICS CO.,LTD.

サンプラスチックス
株式会社

本社：京都府相楽郡精華町光台1-2-9
TEL:0774-39-8201
http://www.sunpla.co.jp/
従業員数：129名
設立：1957年4月
主な事業内容：食品包装容器を中心に医療機器容器、検査容器などディスプレイ(使い捨て)容器の研究開発、および製造。



JOB INFORMATION

正社員募集

「『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を見て応募です」とお伝えください。

2021年3月 第2新卒以上 文理不問
大学卒業見込 歓迎

※2021年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2020年6月1日以降に選考解禁します。

- (1) 技術開発職(技術部)【内容】生産状況の可視化共有化システムの独自開発から当社の製造工程全体を企画・設計にまで携わる仕事です。
- (2) 生産技術職(製造部 製造課)【内容】最高品質の製品を世界最速のスピードで安定した生産を維持するための条件設定・メンテナンスが主な仕事です。
- (3) 物流工程職(製造部 業務課)【内容】PCでの基幹業務システムを活用し、物流の出荷手配や倉庫の在庫管理が主な仕事です。
- (4) 開発営業職(営業部)【内容】主に日本国内の大手食品業界に対し、開発・販売・マーケティング・企画など、様々な発想で営業を行います。

【応募資格】2020年3月に高校・高専・大学・大学院を卒業見込みの方。
【給与】高専/高専卒：215,000円、大学卒：225,000円、大学院卒：230,000円(2018年初任給実績)
【勤務地】〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台一丁目2番地9
【勤務時間】8:00~17:00(実働8時間)
【休日】週休2日制(土・日)、祝日、ゴールデンウィーク、夏期、年末年始、有給休暇、慶弔休暇 年間休日105日
【諸手当】福利厚生)住宅手当(1万5000円)、扶養手当(配偶者6,000円、子ども一人あたり3,000円)、役職手当(1万5000円~20万円)、通勤交通費(上限5万円まで)、時間外勤務手当、借上げ住宅制度、退職金制度
【保険】健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
【その他】第二新卒、中途採用も随時募集中心!
【連絡先】まずは一度お電話ください。
電話：0774-39-8201(担当：桃井)

サンプラスチックス独自開発
「Roll to IML」手法とは



技術部 技術課
森田 誠さん(36歳)
1983年、高知県生まれ。愛媛県新居浜工業高等専門学校を経て奈良先端科学技術大学院大学で博士号を取得。のち三重大学へ。専門は半導体。「目的が理にかなっていないと働きがいがあがる。当社は機械メーカーではないのに、製造手段として機械を開発している」。趣味はガンブラ。ガンダムのパーツを組み合わせて自由にプラモを作っている。

独自の分析技術で不良率を下げる

サンプラスチックスでは、1日で約200万個もの容器を製造する。工程では、ラベルがきれいに巻かれていないなどの不良品の発生はつきものだが、「不良品は、すぐに対処」のスピード感で、驚きの生産量を実現した。

不良品の発見は、市販のカメラやロボットを組み合わせたオリジナル機械と、自社開発のソフトで行う。どんな不良があったのかをピンポイントで突き止め、その原因を自動分析するシステムも自社で開発した。さらに、容器を製造する機械のデータの蓄積・分析から、機械による自動修正の実現にむけて、機能拡張を順次進めている。



印刷面につけられた、2つの黒い点。これは、ラベルの貼り付け不良を見つけるための工夫だ。2つの点が平行でないものは、ラベルがゆがんでいるということ。自社製・カメラ付きの検査機器で不良要因を自動分析している。

「使える市販品はどんどん使う。それらを組み合わせ、いかにパフォーマンスを高めるかが、技術者の腕の見せどころ」と、桃井社長。学生時代の専門分野は不問。おもしろそうと感じたら、ぜひ問い合わせしてほしい。

この容器に
すごい技術が
詰まってる!



重量
30%
OFF!

コスト
20%
OFF!

単一素材で
リサイクル
しやすい!

「100年続く」を目指す
サンプラスチックスの
ものづくりが
すごい!

世界的メーカーが
容器を採用

ハーゲンダッツアイスクリーム、ヤクルトジョア、明治コンソートマーガリンなど、誰もが知る食品の容器を製造しているサンプラスチックス株式会社。業界トップレベルのシェアを誇る、急成長中のB to B企業だ。

世界的食品メーカーから厚い信頼を得ている理由は「自社の機械を自社で開発している」から。「スマートファクトリー」をコンセプトに、高い品質

将来的には、外注しているラベルの印刷工程も集約し、印刷しながらカットできるシステムの導入を目指しており、日々開発を進めている。

製造工程を集約することで、製造の時間もコストも大幅に削減。多くの企業からオーダーが殺到しているのは、サンプラスチックスにしかできないものづくりがあるからだ。

技術の追求は目覚ましい。たとえば、ヨーグルトの容器。樹脂原料とラベルを同時に金型に入れ、成形とラベル装着を同時に行う工法(IML)では、一般的に、カット済みのラベル束から一枚ずつ取ってカップに巻きつけていく。サンプラスチックスでは「Roll to IML」という、国内ではここのみという独自システムを採用。ラベルをカット前のロール状態から、レーザーでその場でカットする。

「最終製品は、食品容器。しかし、私たちが注力しているのは容器を成形する機械と、検査機器の開発を通じて省人化で働き方を改革することです。質の高い製造現場となることを目的としています」と、技術部技術課の森田誠さんは話す。